

わが村は美しく

中標津町編

第十二回 奨励賞

みんなの景観なかしべつプロジェクト



中標津東小学校で行われた景観学習の様子。格子状防風林の役割を学ぶ。



開陽台に設置された北海道遺産であることを記す看板。

お話をしてくれた人



みんなの景観なかしべつプロジェクト

代表 飯島実 さん



歴史に裏打ちされた
わがまちの景観の背景を知り、
次世代へつなぐダイナミックな活動。

北海道遺産「格子状防風林」を知っていますか

北海道の東部にある中標津町は、酪農を中心とした農業のまち。観光で訪れる人の多くが足を運ぶのがランドマークの開陽台である。標高二七〇メートルの丘にある展望館の上から見る、視界三三〇度の大パノラマは、北海道の雄大さをあらためて感じることが出来る。

この眺めの中に、今回紹介する「みんなの景観なかしべつプロジェクト」の活動があった。

代表の飯島実さんは、最初に町を上空から見た写真を示しながら「根釧台地の格子状防風林」のことを語り始めた。

格子状防風林は、中標津町、標津町、別海町、標茶町にまたがって、農地を守るために設置された防風林だ。その歴史的、

文化的な価値が評価されて二〇〇二年、北海道遺産に登録されている。筆者は何度か開陽台を訪れ、自然の迫力を感じたことはあるが、これまで「格子状防風林」を意識したことはなかった。

「二〇〇〇年、スペースシャトルに搭乗した宇宙飛行士・毛利衛さんが撮影した宇宙からの写真にも格子状防風林がくっきりと写っています。一辺の長さが約三三〇メートル、幅二八〇メートル、総延長は六四八メートルという、地球規模のスケールとして注目されたんです」と飯島さん。

二〇一七年、町は「中標津町景観計画」を策定した。「中標津町景観条例」（一九九六年制定）の基本理念を継承しながら、まちの財産である町の景観を後世に引き継いでいくことが主な目的だ。この景観計画を機に町民の有志が設立した任

第11回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しく－北海道」運動

中標津町へは、JR釧路駅から阿寒バスが運行。周辺を散策するなら駅レンタカーを利用すると便利。旧北海道農事試験場の庁舎を活用した伝成館（でんせいかん）の2階には町の歴史を知る資料を展示。詳しい観光情報は、なかしべつ観光協会のホームページなどを参考にしてください。

お問い合わせ／（NPO法人伝成館内）☎0153・73・4301



旧北海道農事試験場の庁舎を活用した伝成館(でんせい かん)の2階にある資料室で中標津開拓の歴史を説明する飯島さん。



上空からの景色。この格子状防風林が強風や吹雪から町民の命を守っている。



各班が作った立体地図をつなげると地球スケールの格子状防風林が完成する。と、防風林がいかに格子状になってきた中標津小学校の校内展示は壮観。



座学では、みんなが会員と学芸員が歴史などを説明。



工作では、みんなが会員がサポートし、農家の配置を考えながら、班ごとに立体地図を作成する。

中でも注目目は、景観学習部会が行っている小学校での景観学習だ。小学四年生を対象に中標津町の代表的な景観である「根釧台地の格子状防風林」をテーマに学んでいる。

「団体が設立される前から景観学習は行われてきましたが、団体設立後は、部会員を中心に説明や工作のサポートをしながら展開しています」と飯島さんは説明する。

わがまちの景観から学べるものは数知れず

意団体が、通称「みんなか」と呼ばれている「みんなの景観なかしべつプロジェクト」だ。

プロジェクトには六つの部会がある。「景観学習部会」「かほちやランタン部会」「昭和初期の開拓景観保存活用部会」「白樺並木をいつまでも計画部会」「なかしべつの色部会」「中標津しるべつなぎ会」がそれぞれに町の景観とリンクしながら活動している。

学習は、座学と工作の二本立て。座学では、農業の歴史、防風林の生い立ち、歴史的・文化的価値を学ぶ。防風効果だけではなく野生動物のすみかや移動通路としての機能も果たし、開拓時代の植民地区画を示す歴史的意義など幅広い知識を得ることができる。

工作では防風林を立体地図で再現し、各班が作った模型をつなげると広大な格子状防風林が出来上がる、その仕組みを学ぶのだ。「格子状防風林がいかに暮らしに安心感を与えているのか。景観という観点からの学習を通して、町民一人一人がまちづくりの主役であることを意識して、まちへの誇りと愛着を持ってもらうきっかけになっています」と飯島さん。

今後は、町民や行政が心を一つに、法人化により景観まちづくりを支援・調整・管理する景観整備機構の設立も視野に入れている。そして永続的な景観まちづくりを進められる団体をめざしたいと、未来を見つめていた。



「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために、2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。コンクールは1年目に優秀賞、奨励賞を表彰し、2年目に優秀賞から大賞を決定。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

お問い合わせ／国土交通省 北海道開発局 農業水産部農業振興課 ☎ 011・709・2311(内線5685)

